

鎌倉時代の武士

の驚き!?

～元寇に着目して～

元寇とは...

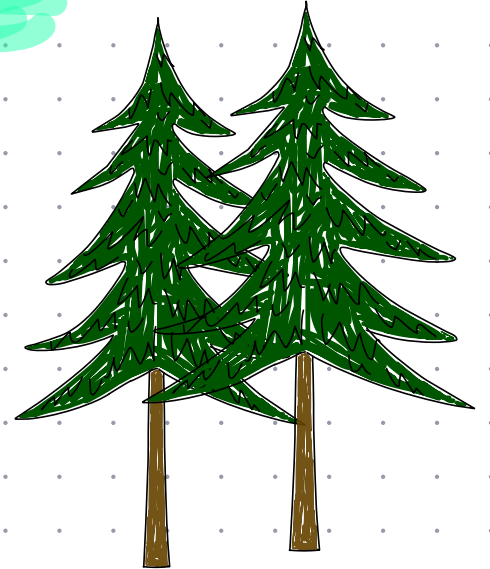
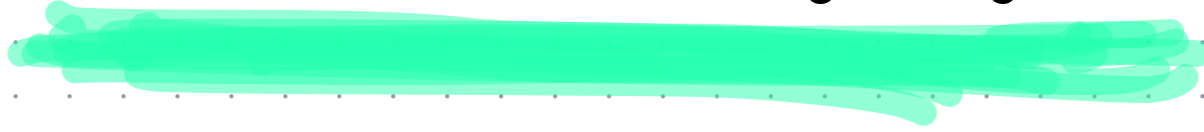
元(モンゴル)が日本を従えようと、2度にわたり攻めてきたこと。



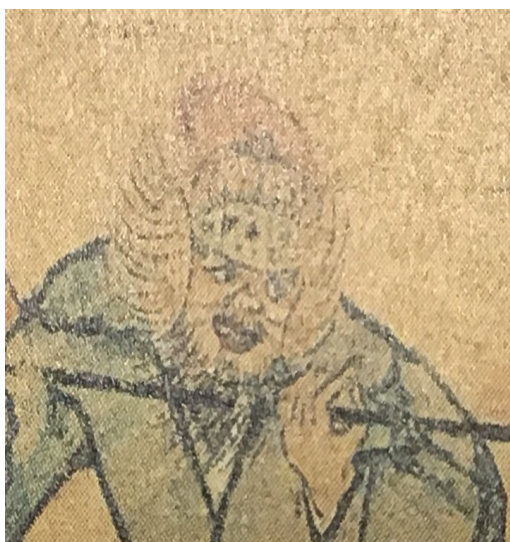
では、武士は何に
驚いたのか...

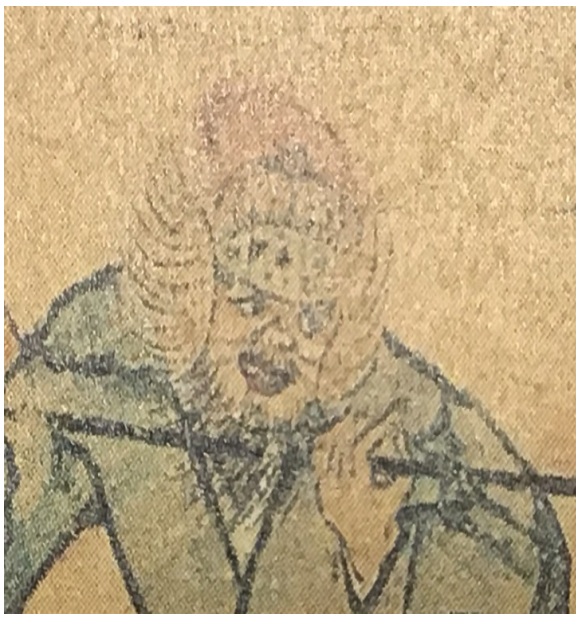


いっ目



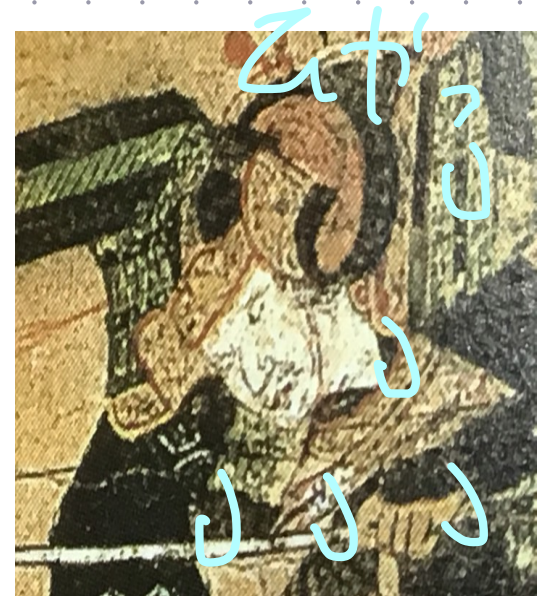
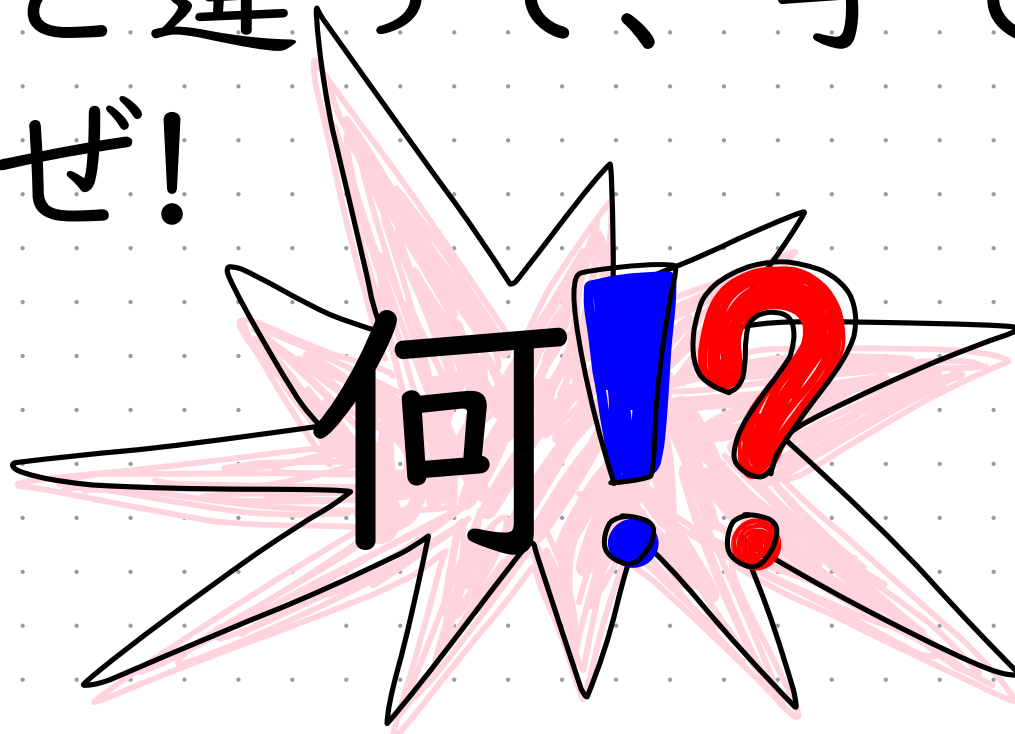






てつはう とは、
陶器に火薬の鉄片
をつめた武器。

鉄砲と違って、手で投げる
んだぜ!





ニッ目



肥後國竹田新井村
壬午年二月九



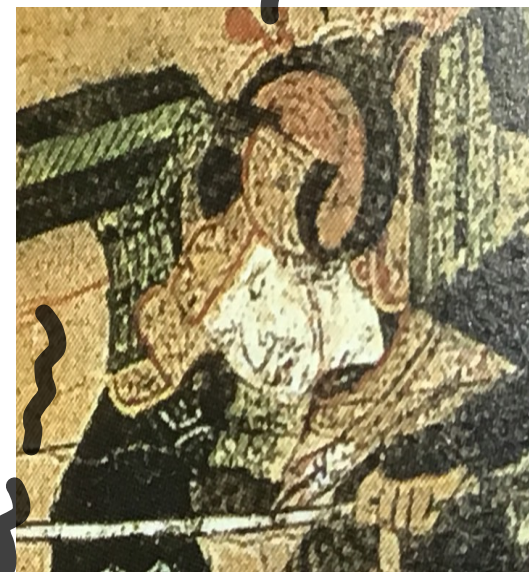
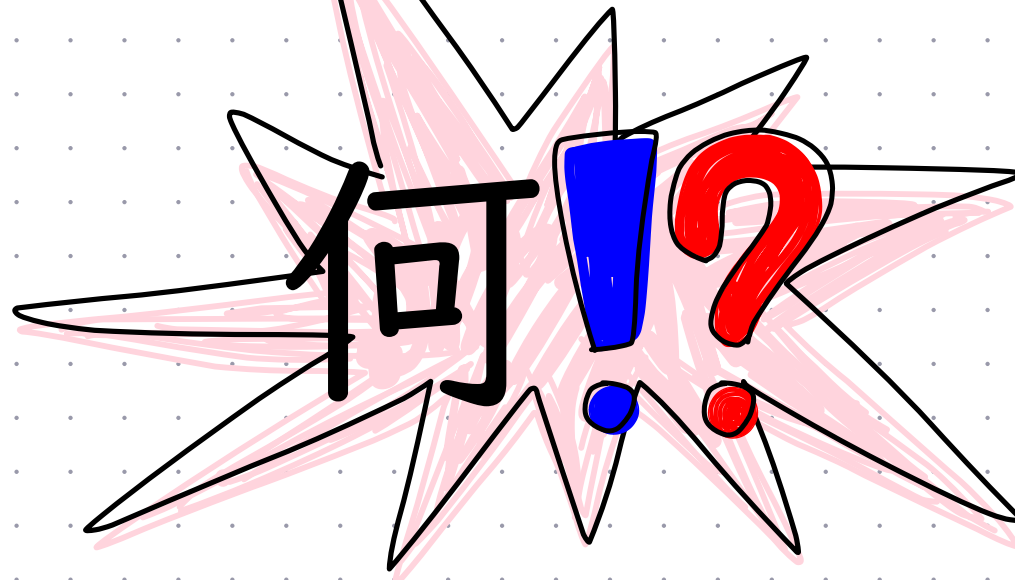




毒矢とは、

矢の先端に毒をめっ
ている。ささったら
死ぬ確率が高いよ

ぶるっ





三つ目



日本と元の戦法のちがいを
見てください。

日本



● 一騎打ち ●

一対一で自分の名前を名乗から戦っていた。

元



● 集団戦法 ●

集団で戦う。ほとんどの人が身軽な格好で戦っていた。

日本

● 文永の役(1回目) ●

兵士:約5～6千人

● 弘安の役(2回目) ●

兵士:約4万人

元

● 文永の役(1回目) ●

兵士:約2万5千人

水夫:約1万5千人

船:約900隻

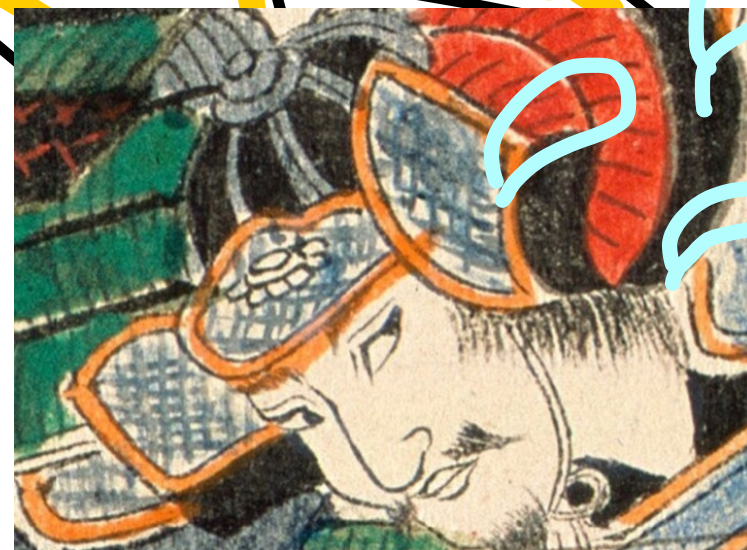
● 弘安の役(2回目) ●

兵士、水夫:約14万人

船:約4400隻

日本は元の集団戦法に戸惑った。

なんだ なんだっ



〈まとめ〉

日本の武士たちは、見た事のない元軍の武器に混乱した。

元と日本の戦法が違いすぎて、力を発揮することができなかった。

〈感想〉

武士の一騎打ちで元と戦えば、いくら人数が多くても、神風が吹かなくても、日本が勝っていたと思います。